

日付：2021年2月9日（火）

## 今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	社員の認知機能チェック 伊藤園、 自社飲料を継続提供 プログラムの外販も	日経 12  認知症 ・介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊藤園は社員の認知機能を確認し、低下を防ぐ取り組みを開始</li> <li>認知機能の維持に効果があるとされる自社の飲料などを継続的に飲んでもらい、健康診断などと合わせて体調を把握(50歳以上の希望者を対象)</li> <li>機能低下の兆しがみられた社員に3~6カ月、自社で製造する抹茶パウダーや「お〜いお茶 お抹茶」を毎日、摂取</li> <li>同商品は伊藤園が2020年12月に発売した機能性表示食品で、成分のテアニンやカテキンが認知機能の低下を抑える効果があるとしている</li> <li>抹茶を飲むことで認知機能の悪化を抑えられたかを、年1回の健康診断などで定期的に観察(…発売前に調べてはいないのか?)</li> </ul>	話題から、認知症の訴求 日々の活動に活用 (物資等も)
2	走行機能、ソフトで更新 トヨタ・日産が導入 自動運転など「売り切り前提」変革	日経 1  大見出し・ 自動車保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>トヨタ自動車と日産自動車は、車に搭載したソフトウェアの更新だけで走行機能を高度化する仕組みを2021年に新型車で投入。</li> <li>技術革新にあわせ自動運転や加速機能を拡充でき、車を買って替えずとも性能を最新化</li> <li>ソフト更新で稼ぐビジネスも視野に入れる。米テスラが12年から走行機能向けに採用しており、自動運転の料金(機能向上へのソフト更新)は現在1万ドル(約105万円)</li> </ul>	話題から、自動車の有無。車検 や自動車保険の更新の時期の 確認。買い替えの時期等を含め たライフシミュレーションから、家族全 体での保障・保険料の見直し等
3	血液検査試薬を増産 富士フィルム、 ベトナム工場増強	日経 12  健康 ・医療保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士フィルムは血液中の尿酸値やコレステロールを調べる検査試薬を増産</li> <li>世界で高齢化が進み、体への負担が少ない血液検査の需要が増えているため</li> <li>血液検査試薬は、小規模病院でも使用しやすく、コロナ禍で大規模病院を避けたい人や、ペットを飼う人が増えており、動物の定期健診での血液検査の需要も拡大している</li> </ul>	話題から、お客さまの体況のアド バイス。健康診断の時期と医療 保障の訴求(体況が悪くなる前 に)
4	小学生向けプログラミング イオン系、ゲーム教材に 娯楽施設不振で新事業	日経 12  子ども ・教育資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内型アミューズメント施設を展開するイオンファンタジーはゲームを教材に、プログラミングや英語などを小学生がオンラインで学ぶ「ゲームカレッジLv99」を開始</li> <li>月額7800円(税抜き)からで、実際に市販されているゲーム(マインクラフト等)を活用</li> <li>東京大学大学院講師の藤本徹氏らと連携し、3年後に受講者数1万人を目指す</li> </ul>	教育資金のプランニングや進学 に伴う保障の最新化等

## Today's アドバイス

今日は何の日	本日の言葉	定期預金金利 (1,000万以上/10年)	0.002%	国債(10年) 360回	0.060%	米国債(10年) 1.166%	-0.001
<ul style="list-style-type: none"> <li>漫画の日</li> <li>ふくの日</li> <li>服の日</li> </ul>	あなたが今まく種はやがて、 あなたの未来となって現れる ／夏目漱石(作家)	日経平均	29,388.50 609.31	ダウ平均	31,385.76 237.52	韓国総合指数 KOSPI	3,091.24 -29.39
		コロナり患者数 (国内)	407,412 1,214	コロナ死者数	6,524 83	コロナ罹患者数 (世界)	106,161,687 397,264
		インフルエンザり患者 (1月25~31日)	64 (昨年89,436人)	参考:2018年 罹患者数/死者数	約1200万人 ／3,325人	インフルエンザ ワクチン供給量	約3,178万本 (6,300万人分)

## 本日の深掘りウォッチ：2月14日はバレンタインデー♪

## ① チョコレートは、「カラダ」に良い！

チョコレートやココアは、これまでの長い歴史の中で、嗜好品としてだけでなく、栄養の面からも様々な効果を持つ食品として愛されてきました。近年、カカオに含まれる成分の研究が進み、健康に役立つことがわかってきています。カカオポリフェノールの抗酸化作用による**心臓病のリスク低減**や**同薬効果の抑制作用**、**肥満（脂肪蓄積を抑える効果）**、**生活習慣病の予防**、**脳機能の改善**などが研究成果として報告されています

## チョコレートやココアの効能

心臓病のリスク低減

動脈硬化の抑制

コレステロール値を下げる

胃がんや胃潰瘍を予防

O-157やピロリ菌を殺菌

ガンの発生や進行を抑制

アレルギー疾患や炎症を抑制

外傷の治癒する細胞の促進

認知症  
の予防  
にも効果あり！

効果的な摂取量

カカオ70%以上を1日25gが最適！

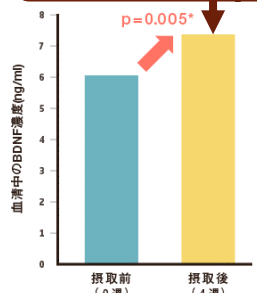
## ② チョコレートが認知症の要望に効果的！?

チョコレートの摂取により、アルツハイマー型認知症や記憶・学習などの認知機能と関連性が報告されている**BDNFが増える**ことがわかりました！

BDNFとは

脳の活動や記憶を司る神経活動  
を下支えする非常に重要な物質

これまで、**運動したり、難しいことを考えたりするとBDNFが増える**のではないかとわれてきました。しかし、今回の実証研究では、チョコレートに含まれるカカオの成分であるポリフェノールにBDNFを増やす可能性があることが初めてわかりました。これは、最終的には認知症を予防できる可能性があることを示すもので、とても大きな期待が持てます。

チョコレートの摂取前後で  
被験者のBDNFが有意に上昇

BDNFの測定結果

## バレンタインデーの由来

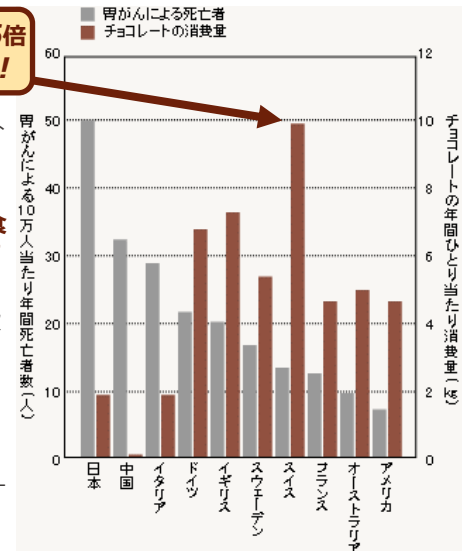
バレンタインデーの由来は、3世紀のローマの話です。当時、兵士たちの結婚は禁止されていて、それに疑問を持ったバレンタイン司祭が、皇帝に反対して兵士達を結婚させたようです。皇帝の怒りを買ったバレンタイン司祭は、2月14日に処刑されて殺されてしまいました。悲しんだローマ人は、この日を聖バレンタインデーとしました。後に、「愛の日」として愛の告白をする日と変わっていったようです。ヨーロッパでは、この日に花やケーキやカードなどを送る習慣があるようで、女性が男性にチョコレートを贈るのは、日本独自のようです

スイスは、消費量6倍  
で死者数は1/4！

がんの発生とチョコレートの関係についての関連データ。

チョコレートがたくさん食べる国では胃がん死亡者が少ない。

一人当たりの年間消費量が最も多いスイスと日本を比較では、スイスのチョコレートの消費量は日本の約6倍、胃がんによる死者数は約4分の1となっています



胃がんによる死亡とチョコレートの消費量

出典：第3回チョコレート・ココア国際シンポジウム(1997年)

チョコレートを活用して、お客さまに「健康」と「最適な保障」をお届けしましょう！